

2019 会 告 No.11



◇通知・案内事項

○第85年会 プログラム集広告・webバナー広告募集……………本号7ページ

上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会		9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	12/16～17(じばさんびる)	
◇学生発表会(東地区)		3/7(中央大学)
(西地区)		3/7(岡山大学)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
11月 November			
1～2	熱工学セミナー(兵庫県)		9号12
6	分離プロセス部会 第15回基礎講座 「シミュレーション技術を用いた吸収塔・蒸留塔の設計とその解析」(東京都)	11月1日(金)	本号9
7	開発型企業の会 2019年度第3回技術交流会(東京都)		10号11
7～8	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(栃木県)		6号9
7～8	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)		8号9
7～8	第2回東海若手合宿(三重県)		10号12
8	反応分離シンポジウム2019(兵庫県)		9号13
8	第8回 三重コロキウム「キャリア形成のための企業懇談会」(三重県)		10号13
9～10	第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(長野県)		7号14
14～15	粉体エンジニア早期養成講座【分級】(神奈川県)		6号9
14～15	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)		9号14
15	第6回初歩からの化学工学数学演習講座「データ整理手法とディープラーニングの基礎」 (愛知県)	11月8日(金)	10号13
18	ソノプロセス分科会2019年度見学会(宮城県)	11月8日(金)	本号9
20	セミナー 「安全性と収益性を良質する次世代スマートプラント～+プロセス強化とIoT活用のスマート保安の観点から～(大阪府)		10号14
20	化学装置材料部会腐食分科会公開講座(東京都)	11月8日(金)	本号9
20～22	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		8号9
21	化学工学技士(基礎)・化学工学技士・上席化学工学技士の集い(東京都)	11月14日(木)	10号11
22	第61回関東技術サロン講演会「サステナビリティと都市鉱山メダル」(東京都)		本号10
26～27	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		6号9
27～29	「P&IDの作り方」講座(東京都)		8号10
28～29	第25回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB25) 第14回反応装置・プロセスシンポジウム(大阪府)	11月15日(金) (事前参加締切)	7号12
29	2019年度セミナー「化学産業におけるナノ材料の社会実装への現状と将来展望」(広島県)	11月1日(金)	10号15
29～30	第45回経営ゼミナール「自らを変え、変革の波を起こせ！～明日の日本を私が創る～」 東京セッション(東京都)		6号8
30	第14回経営ゼミナール特別講演会(東京都)	11月21日(木)	本号8

12月 December			
2	セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ～マイクロリアクター利用の実態～」(大阪府)		10号14
2	2019年度コンビナート講習会「プラントのサイバーセキュリティ」(東京都)		本号10
2～3	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		8号10
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		6号9
3～4	第53回 化学工学の進歩講習会「最新情報技術活用によるプロセス産業スマート化－AI, IoT, MIの基礎から最前線まで－」(愛知県)	11月22日(金)	10号13
4	2019年度化学工学会関東支部若手の会講演会(東京都)	11月27日(水)	本号11
5～6	「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(東京都)		9号10
6	第27回静岡フォーラム・第52回研究交流セミナー「持続可能社会に向けたCO ₂ 削減の推進」(静岡県)	11月29日(金)	10号14
7	第7回ケミカルエンジニアリング・カフェ(東京都)	11月30日(土)	本号8
10	シンポジウム「5G及び次世代高周波無線通信で使用される材料・プロセス技術」(東京都)		10号12
11	第122回技術懇談会(東京都)	12月4日(水)	本号8
12	開発型企業の会 2019年度第4回拡大技術交流会(東京都)	12月5日(木)	本号8
16～17	化学工学会姫路大会2019(兵庫県)	11月29日(金)	本号13
19	近化電池セミナー「革新型蓄電池の現状と展望」(大阪府)		本号13
21	第10回 福島地区CEセミナー(福島県)	12月16日(月)	本号10
2020年1月 January			
20～21	最近の化学工学講習会68「塗布・乾燥技術の基礎とものづくり」(東京都)		本号11
21	第51回CEシリーズ講習会「AI・IoT・ビッグデータ活用の基礎とプロセスへの実装」(東京都)		本号12
23～24	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)		9号10
24	第22回企業と大学・高専の人材育成懇談会(福岡県)	12月13日(金)	本号13
27～29	「反応器の設計」講座(東京都)		9号10
28～29	第26回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム Mate2020 (神奈川県)		
29	クローズアップシリーズ2019「CFDと先進解析技術の融合」(東京都)		本号12
30～31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
30～31	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(東京都)		9号11
2020年3月 March			
7	第22回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)	12月6日(金)	10号10
7	第22回化学工学会学生発表会岡山大会(岡山県)	12月6日(金)	10号10
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)	申込締切 12月22日(日)	本号7
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月8～9日	The 2019 TwIChE Annual meeting (東海大学, 台中)		
11月13～15日	2019年日台韓化学工学合同カンファレンス (JTK2019) (大分県)		7号16
12月7日	第32回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2019) (韓国大田市)		7号16

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
第13回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム - 科学技術都市から電磁波・マイクロ波利用の学術研究 と産業応用を発信 - (茨城県)	10月30日～ 11月1日(水～金)	日本電磁波エネ ルギー応用学会	sympo2019@jemea.org https://www.jemea.org/
酵素工学会第82回講演会(東京都)	11月1日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2019 (愛知県)	11月1～3日 (金～日)	名古屋大学未来材 料・システム研究 所	052-581-3241 (052-581-5585) icmass2019@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
コロイドおよび界面化学討論会 第70回記念国際会議 (沖縄県)	11月3～8日 (日～金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会	http://www.okinawacoloids.jp
第240回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題 から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(大阪府)	11月6日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
技術倫理セミナー「求められる技術倫理とその実践」 (東京都)	11月6日(水)	公正研究推進協会	03-5937-0900 admin@aprin.or.jp https://www.aprin.or.jp
表面科学セミナー 2019(実践編) (大阪府)	11月6～7日 (水～木)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/ index.php
未来を拓く無機膜環境・エネルギー技術シンポジウム (東京都)	11月7日(木)	地球環境産業技術 研究機構	0774-95-5086 (0774-95-5066) y.yamaguchi@rite.or.jp
第14回エレクトロヒートシンポジウム(東京都)	11月8日(金)	日本エレクトロ ヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) fukunaga@jeh-center.org
第62回自動制御連合講演会(北海道)	11月8～10日 (金～日)	日本機械学会	011-706-6408 (011-706-7889) kobay@eng.hokudai.ac.jp
講習会「静電気障害の実例と対策」～工場災害・粉体輸 送問題・半導体障害の実例と対策、リスクマネジメント、 静電気基礎～(東京都)	11月12日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org
プラスチック成形加工学会 第27回秋季大会(香川県)	11月12～13日 (火～水)	プラスチック成形 加工学会	089-927-9716 (089-927-9716) sympo2019@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
膜シンポジウム2019“融合へ”(大阪府)	11月12～13日 (火～水)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://maku-jp.org/
第41回安全工学セミナー「プラント安全講座」(東京都)	11月14～15日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第4回東日本キャタリスセミナー(宮城県)	11月14～15日 (木～金)	触媒学会 東日本支 部	koichi.sato@aist.go.jp
第16回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレー ション入門講習会(大阪府)	11月14～15日 (木～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp

第15回微粒化セミナー(東京都)	11月15日(金)	日本エネルギー学会(幹事団体), 日本液体微粒化学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events2019@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/709/
No19-364 講習会 混相流入門: 実験・数値計算の基礎から実例まで(東京都)	11月15日(金)	日本機械学会 流体工学部門	03-5360-3504 (03-5360-3508) sekine@jsme.or.jp http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm
実用表面分析セミナー2019(兵庫県)	11月18日(月)	日本表面真空学会 関西支部	072-653-8301 Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou22.html
女子大学院生・ポスドクのための産総研所内紹介と在職女性研究者との懇談会(茨城県)	11月18～19日(月～火)	産業技術総合研究所 総務本部ダイバーシティ推進室	diversity-event-office-ml@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/191118_div_event.html#j
第10回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(静岡県)	11月19～21日(火～木)	日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門	daitsu@jsme.or.jp http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2019
第331回例会『大気腐食の基礎』(大阪府)	11月20日(水)	日本材料学会 腐食防食部門委員会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第38回溶媒抽出討論会(佐賀県)	11月20～21日(水～木)	日本溶媒抽出学会	0952-28-8669 (0952-28-8669) symposium@solventextraction.gr.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第19回破壊力学シンポジウム(福島県)	11月20～22日(水～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第57回燃焼シンポジウム(北海道)	11月20～22日(水～金)	日本燃焼学会	011-706-6385 http://www.combustionsociety.jp/sympo57/index.html
第41回ドライプロセス国際シンポジウム(広島県)	11月21～22日(木～金)	第41回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2019@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2019/
第10回イオン液体討論会(大阪府)	11月21～22日(木～金)	イオン液体研究会	10thmeeting@ilra.jp http://www.ilra.jp/
第28回ポリマー材料フォーラム(愛知県)	11月21～22日(木～金)	高分子学会	03-5540-3770 (03-5540-3737) 28pmf@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/pmf.html
講習会「計測技術～温度・熱流・熱伝導率測定の基礎と応用～」(東京都)	11月22日(金)	日本伝熱学会	03-3259-7919 (03-5577-7939) office@htsj.or.jp http://www.htsj.or.jp/committee/lecture/20191122keisokugijutsu/
No.19-352 第23回リーダーを目指す技術者倫理セミナー(東京都)	11月23日(土)	日本機械学会	(03-5360-3508) ohashi@jsme.or.jp
EcoDesign2019 第11回環境調和型設計とインバースマニユファクチャリングに関する国際シンポジウム(神奈川県)	11月25～27日(月～水)	エコデザイン学会 連合, 産業技術総合研究所	03-5841-6478 (03-5841-6478) ecodesign2019_secretariat@ecodenet.com http://ecodenet.com/ed2019/
第57回粉体に関する討論会(広島県)	11月25～27日(月～水)	第57回粉体に関する討論会	powder@hiroshima-u.ac.jp https://home.hiroshima-u.ac.jp/powder/funtai57/index.html

エネルギー技術シンポジウム2019 エネルギー材料開発・エネルギーシステム評価のための先端計測技術(東京都)	11月27日(水)	国立研究開発法人産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門, 創エネルギー研究部門	029-861-7247 (029-851-7523)
技術セミナー エネルギー貯槽技術の最新動向(東京都)	11月27日(水)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/event/
第33回数値流体力学シンポジウム(北海道)	11月27～29日(水～金)	日本流体学会	cf33-admin@eng.hokudai.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd33/
「研究者, 技術者のための, 応用数学」【実践編】RoHS/REACHに対応する自律的マネジメントシステムの構築(神奈川県)	11月27～29日(水～金)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) ed@newkast.or.jp
第71回白石記念講座「地震と鋼材－阪神・淡路大震災から25年を過ぎて－」(東京都)	11月28日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu8ne0d9y
第52回安全工学研究発表会(新潟県)	11月28～29日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://jsse.or.jp/
第46回炭素材料学会年会(岡山県)	11月28～30日(木～土)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2019/index.html
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow (ICJWSF-2019) (香港)	12月1～5日(日～木)	ICJWSF-2019 組織委員会	(852)2358-7184 ((852)2358-1543) icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk
第9回潜熱工学シンポジウム(茨城県)	12月2～3日(月～火)	日本潜熱工学研究会	0294-38-5035 yanrong.li.mech@vc.ibaraki.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/9thLatentheatSympo/9thSym-index.html
第39回水素エネルギー協会大会(東京都)	12月2～3日(月～火)	水素エネルギー協会	secretary@hess.jp http://www.hess.jp
第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日(水～木)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第35回ゼオライト研究発表会(東京都)	12月5～6日(木～金)	日本ゼオライト学会	046-841-3810 knishi@nda.ac.jp https://www.jza-online.org/
第45回腐食防食入門講習会(東京都)	12月5～6日(木～金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcor.or.jp
Salt & Seawater Science Seminar 2019(神奈川県)	12月6日(金)	公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所	0465-47-3161 (046548-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/
日本学術会議公開シンポジウム「第5回理論応用力学シンポジウム」(東京都)	12月9日(月)	日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会	06-6879-7249 (06-6879-7249) kajisima@mech.eng.osaka-u.ac.jp
第33回分子シミュレーション討論会(愛知県)	12月9～11日(月～水)	分子シミュレーション学会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj33/
第7回アジアバイオマス科学会議(福島県)	12月10日(火)	日本エネルギー学会 バイオマス部会	acbs2019@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/703/
第15回バイオマス科学会議(福島県)	12月11～12日(水～木)	日本エネルギー学会 バイオマス学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) fukuda_jie1921@jie.or.jp http://www.jie.or.jp/publics/index/676

技術セミナー 金属材料の高圧水素適合性判断技術 ～高圧水素機器の安全性と経済性の両立を目指して～ (東京都)	12月12日(木)	日本高圧力技術協会	03-3516-2270 (03-3516-2271) tanaka@hpij.org http://www.hpij.org/
第170回講演会 東工大・鞠谷研をのぞいてみよう(東京都)	12月12日(木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第189回腐食防食シンポジウム 「電気化学インピーダンス法の基礎とその適用事例」 (東京都)	12月12日(木)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
プラント運転の安全と高度化を考える講演会2019 (神奈川県)	12月13日(金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) tanaka@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/bukai_web_appli/sindex.html
進化を遂げる μ -TAS lab-on-a-chip organ-on-a-chip (神奈川県)	12月16～18日 (月～水)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) ed@newkast.or.jp https://www.kanagawa-iri.jp/human_res_devl/ed31_seminar_13/
第32回バイオエンジニアリング講演会(石川県)	12月20～21日 (金～土)	日本機械学会 バイオエンジニアリング部門	bioconf19-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf19-2/
第20回アジア微粒化会議および 第28回微粒化シンポジウム(山口県)	12月21～23日 (土～月)	日本液体微粒化学会(ILASS-Japan)・ 日本エネルギー学会・ILASS-Asia	http://www.ilass-japan.gr.jp/english/activity/ILASS-Asia2019/
第31回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2020年1月 16～17日(木～金)	高分子学会高分子ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) resgl@spsj.or.jp http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
炭素材料学会 1月セミナー(東京都)	2020年1月24日(金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-koshukai@bunken.co.jp http://tanso.org/contents/event/seminar/january_2020.html
第25回高専シンポジウム in Kurume(福岡県)	2020年1月25日(土)	高専シンポジウム協議会, 久留米工業高等専門学校	0942-35-9300 (0942-35-9425) sympo25@kurume-nct.ac.jp http://www.cc.kurume-nct.ac.jp/sympo25/
第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (東京都)	2020年1月27～ 28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレンス(東京都)	2020年1月28～ 29日(火～水)	エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第12回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム(ISPlasma2020)／第13回プラズマ ナノ科学技術国際会議(IC-PLANTS2020)(愛知県)	2020年3月 8～11日(日～水)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2020@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
第70回粉体技術専門講座～食品粉体に関わる先端技術～ (東京都)	2020年3月13日(金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=senmon1
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	2020年12月15～ 20日(火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org

第85年会 プログラム集広告・webバナー広告募集

第85年会概要

会期 2020年3月15日(日)～17日(火)
 会場 関西大学 千里山キャンパス
 見込み参加者 1,800名以上
 内容 研究講演・シンポジウム等
 参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の
 教員・学生、化学系および関連会社の研究者・
 技術者
 URL : <http://www3.scej.org/meeting/85a/>

広告媒体

○プログラム集広告
 媒体 化学工学会第85年会研究発表講演プロ
 グラム集(冊子体, A4サイズ, モノクロ)
 配布対象 化学工学会第85年会参加者
 広告サイズ 刷り上がりでA4サイズ1コマ(1

頁), またはA5サイズ1コマ(1/2頁)
 申込期限 2020年1月31日(金)(掲載頁数に限り
 がありますのでお早めにお申込み願います)
 原稿送付期限 2020年2月7日(金)必着

○webバナー広告

媒体 化学工学会第85年会webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/85a/>)

バナーサイズ 左右130×天地33ピクセル
 ファイル形式 GIF, PNGまたはJPEG
 リンク設定 掲載のバナー広告から貴社へのリ
 ンクを設定します

掲載期間 申込受付後, 第85年会webサイト公
 開終了まで(大会終了後もしばらく公開を続
 けます; 公開終了は化学工学会にて決定しま
 す)

申込期間 随時(スペースに限りがありますので
 お早めにお申込み願います)

申込方法

大会webサイトのフォームよりお申込みくだ
 さい。

広告原稿作成方法

申込受付後に書式などの詳細をご案内させて
 頂きます。書式にそってプログラム集広告の場
 合は版下原稿を, Webバナー広告の場合は電子
 ファイルを作成して頂きます。

広告料金支払方法

口座振込にてお支払い頂きます。振込口座等
 は申込受付後に実行委員会よりお知らせしま
 す。

広告料金[税別]

○化学工学会会員(原則として法人会員に限りです)

掲載位置	プログラム集広告*1		webバナー広告*3	
	A4縦	A5横	バナーのみ	パッケージ*2
表2	55,000円		20,000円	+ 10,000円
表3	50,000円			
表4	60,000円			
上記以外 (冊子本体末尾)	40,000円	20,000円		

○化学工学会会員外(原則として法人に限りです)

掲載位置	プログラム集広告*1		webバナー広告*3	
	A4縦	A5横	バナーのみ	パッケージ*2
表2	110,000円		40,000円	+ 20,000円
表3	100,000円			
表4	120,000円			
上記以外 (冊子本体末尾)	80,000円	40,000円		

*1 1コマあたりの料金です。

*2 「パッケージ」とは, webバナー広告をプログラム集と同時に申込みいただく場合の料金です。
 同時に申込みいただくことで割引がございますので, 是非ご検討ください。

*3 広告主様にて掲載用画像ファイルを制作いただく場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので, 別途お問い合わせください。

注意事項

■掲載の取消し

掲載申込の受付後は, 本会が不可抗力と認め
 たもの以外の掲載取消しはできません。したが
 って, 広告料金の返却は致しません。原稿送付期
 限に遅れて送付された原稿は掲載できません。
 この場合, 本会が不可抗力と認められたもの以外
 の広告料金は返却致しません。掲載申込の受付後
 でも掲載内容に問題があると本会が判断した場
 合には掲載をお断りすることがあります。この場
 合, 広告料金は返却します。

■掲載位置

プログラム集内での広告掲載位置によって料
 金が異なります。表2, 表3, 表4はお申込み先
 着順とします。それ以外は申込順を基本としま
 すが, 広告サイズ, 申込数などを考慮して本会
 が決定します。

webバナー広告は, 申込順を基本としませんが,
 申込数などを考慮して本会が決定します。

問合せ先

化学工学会第85年会実行委員会
 E-mail : inquiry-85a@www3.scej.org

第85年会 国際シンポジウム 開催案内

化学工学会第85年会は, 2020年3月15日(日)
 ～17日(火)の3日間, 関西大学千里山キャン
 パスにおいて開催されます。今回の年会から, 国
 際シンポジウム(英語セッション)は, 以下のよ
 うに変更されます。多数のご参加, 講演申込を
 お願いいたします。

アジア国際賞受賞記念講演を含むセッシ
 ョンも予定されています。なお今回よりすべての
 国際シンポジウムは年会内のセッションである
 とともに, 併催する国際会議International Chemi
 cal Engineering Symposiaの一部となります。

Chemical Engineering Symposiaが併催されま
 す。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一
 部となります。一般講演も募集します。詳細に
 ついては学会ホームページ等を通じて後日お知
 らせいたします。

国際シンポジウム|英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムで

国際会議 [International Chemical Engineering Symposia]

今回より年会に合わせ, 国際会議 International

問合せ先

化学工学会第85年会実行委員会
 E-mail : inquiry-85a@www3.scej.org

人材育成センター

第14回 経営ゼミナール特別講演会

主催 化学工学会人材育成センター経営ゼミナール委員会

1975年度に経営ゼミナールを開講して以来、2019年までの45年間に1,705名の方が受講されました。ひとえに参加なされた皆様が後輩にバトンを確実に渡していただき、経営ゼミを盛り上げてこられたお陰であると感謝いたしております。

2007年に直近4年間(29期～32期)の幹事が集まり、一年単位の線であったゼミの繋がりを面に広げる交流会を企画し、今年で第14回目となりました。

ご多忙中かと存じますが、積もる話に花を咲かせ、また、新たな出会いの場へ、万障お繰り合わせのうえご参加いただきたく存じます。

日時 2019年11月30日(土)10:00～15:00

場所

①東京ガス麻布研修所
〒106-0047 港区南麻布2-5-19 (TEL: 03-3453-8911)

東京メトロ南北線、都営大江戸線「麻布十番駅」下車、徒歩10分。都営バス「三の橋」バス停前

②アリスアクアガーデン田町
〒105-0014 港区芝5-34-7田町センタービルピアタ3F (TEL: 03-5427-5535)

JR「田町駅」、または、都営地下鉄三田線及び浅草線「三田駅」下車 徒歩1分

プログラム

会場①東京ガス麻布研修所(10:00～12:00)

特別講演「人生100年時代を迎え撃つ、アタマとココロの革命を!」

多摩大学特任教授 兼 総合研究所所長

久恒啓一氏

移動(12:00～13:00)※移動はご準備致します。
会場②アリスアクアガーデン田町(13:00～15:00)
経営ゼミナール第45期生との合同交流会、名刺交換会

対象 経営ゼミナール卒業生(1～44期)、第45期生(2019)及び過去の経営ゼミナール委員
参加費(税込) 5,000円(当日会場受付でお支払下さい)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

申込締切 11月21日(木)

問い合わせ先 公益社団法人化学工学会 人材育成センター
経営ゼミナール委員会事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: keiei-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

第7回ケミカルエンジニアリング・カフェ開催の案内 “シニアと語る技術者の生き方” ー化学工学から始める キャリアの拓き方ー

主催 化学工学会SCE・Net, 化学工学会関東支部学生会

このカフェは化学工学を学ぶ学生とシニアエンジニアとの交流の場です。企業の技術開発や設計を担ってきたシニアケミカルエンジニアがどのような仕事をしてきたか、経験と見識を語るとともに、学生にとっては日頃感じている疑問を問いかけることにより、化学工学を学ぶ意義を確かめ、企業入社後の活躍のイメージがつかめる機会となります。

日時 2019年12月7日(土)13:15～19:00

場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 60号館1階ラーニングコモンズ
〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
最寄駅: 副都心線 西早稲田駅

プログラム

13:15～14:50 オープニングと、2名のシニア講師による講演と質疑(1講演約40分)
講師: 紫垣由城氏, 松村真氏

15:00～17:00 小グループに分かれてのシニアと学生の座談交流

17:00～19:00 懇親会
参加費(懇親会費を含む) 学生:500円, 社会人:2000円

定員 約40名

申込締切 2019年11月30日(土)

申込方法 SCE・Net事務局 (scenet@scej.org) または関東支部学生会・金子 (yst2219@asagi.waseda.jp) まで、名前、大学(大学院)、学部学科(専攻)をE-mailでお送り下さい。

第122回技術懇談会

第122回SCE・Net技術懇談会を下記により開催いたします。

今回の講演1では、元矢崎総業(株)の飯塚弘氏により、エネルギー損失としての「熱」をコンピュータと人間の脳、またマクロの世界とミクロ(量子)の世界などとの関連で多様な面から考察された内容をお話しいたします。講演2では、産業技術総合研究所の大谷竜氏により、高い確率で予想される南海トラフ地震など巨大地震の可能性が高まった場合、気象庁は地震予測情報を発表することとしましたが、その時に起こる状況と適切な対応について取り組まれている学際研究プロジェクトについてお話しいたします。

日時 2019年12月11日(水)15:00～18:00

場所 化学工学会会議室
東京都文京区小日向4-6-9(共立会館5F)
TEL: 03-3943-3527
(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅より徒歩2分)

講演1 15:00～15:40

「太陽と光と熱、そしてエントロピー」
SCE・Net会員、元矢崎総業(株) 飯塚 弘氏

講演2 15:40～17:00

「南海トラフ地震臨時情報」の社会的影響の評価に関する学際研究プロジェクトの取り組みーどのように「理科」の情報を「社会」に活かすか?ー」
(国研)産業技術総合研究所、主任研究員 大谷 竜氏

懇親会 17:00～18:00

講演会終了後、講師の方も参加していただき、情報交換、懇親の機会を設けます。

定員 35名

会費 1,500円(当日会場受付でお支払い下さい) 但しSCE・Netの法人会員は無料です。

参加申込 お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、Tel, Fax, E-mail)、懇談会出席の有無を、

記載して、E-mailで2019年12月4日までに、お申し込み下さい。

申込先 SCE・Net事務局
E-mail: scenet@scej.org

2019年度開発型企業の会 第4回拡大技術交流会開催 ー循環型社会に向けた現状と展望ー

主催 化学工学会産学官連携センター開発型企業の会

日時 2019年12月12日(木)14:00～19:00(拡大版のため通常より1時間前倒し開催です)

受付13:30～、講演会14:00～17:00、懇親会17:00～19:00

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス61号館4階409室(東京都新宿区大久保3-4-1)

プログラム

本会では、特に注目されているテーマに焦点を当てて最新の技術開発状況の講演を年末に拡大版技術交流会として開催しております。今回はこれからの循環型社会を目指した新たな取組みに関する3件の講演をお願いしました。

14:00～15:00 基調講演「循環型社会に向けた革新的分離技術の必要性」
早稲田大学理工学術院 創造理工学部教授 所 千晴氏

15:00～16:00 「最近のE-scrap事情とJX金属の取り組み」
JX金属(株) HMC製造部 生産技術課 大塚 正氏

16:00～17:00 「Hondaにおける資源循環への取り組み」
本田技研工業(株) カスタマーファースト本部 資源循環推進部 向坊長 嗣氏

17:00～19:00 懇親会 会場: 早稲田大学63号館1階ロームスクエア

参加費 5,000円 (懇親会費用含む: 領収書は当日用意致します)
 定員 40名
 申込締切 12月5日(木)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、Tel/Fax、E-mail) 懇親会出席の有無をE-mailでお送りください。なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

申込先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局
 E-mail: kaihatsugata@scej.org

部 会 C T

化学工学会分離プロセス部会 第15回基礎講座 『シミュレーション技術を用いた 吸収塔・蒸留塔の設計とその解析』

主催 化学工学会分離プロセス部会
 協賛 分離技術会、蒸留分科会

我が国のプロセス産業における分離操作はそのほとんどが気液接触分離プロセスによりおこなわれていることもあり、これを設計すること、操作することは重要である。

本講座では、シミュレーション技術を活用した二酸化炭素吸収塔の設計と解析および速度論モデルを用いた蒸留塔の設計、反応蒸留塔の設計について企業のエンジニアや大学院生などを対象に原理から応用までを学ぶものである。

日時 2019年11月6日(水)
 場所 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
 日本大学理工学部・駿河台校舎1号館4階142教室

プログラム

- 13:00～13:05 開会の挨拶
- 13:05～13:55 酸性ガス吸収塔の設計の基礎－化学吸収法を中心として－
東洋エンジニアリング 佐々木正和氏
- 13:55～14:45 CO₂分離吸収塔の物性推算
応用物性研究所 大場茂夫氏
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～15:50 速度論モデルを用いた蒸留塔の設計
名古屋工業大学 森 秀樹氏
- 15:50～16:40 反応蒸留塔の設計
産業技術総合研究所 山本雄大氏
山形大学 松田圭悟氏
- 16:40～17:00 質疑応答
- 17:00 閉会

定員 30名

参加費 分離プロセス部会会員 10,000円(蒸留分科会会員同額(同時入会含む))、化学工学会・協賛学会会員 12,000円、会員外 20,000円、学生会員 4,000円(当日、会場にて徴収致します)

申込締切 2019年11月1日(金)

申込方法 お名前、ご所属、会員区分(会員・非会員・学生)、連絡先(E-mailとTEL)を明記の上(複数参加の場合には、参加者全員のお名前・ご所属・会員区分、代表者の連絡先)、下記にメールで申し込みください。

申込先 山形大学大学院理工学研究科 松田研究室
 室内
 分離プロセス部会蒸留分科会事務局
 E-mail: dist_secretary@gp.yz.yamagata-u.ac.jp
 TEL&FAX: 0238-26-3742

ソノプロセス分科会 2019年度見学会 「医学への応用を目的とした 超音波技術」

主催 化学工学会反応工学部会ソノプロセス分科会
 協賛 日本ソノケミストリー学会
 日本セラミックス協会マテリアル・フアブリケーション・デザイン研究体

日時 2019年11月18日(月)15:30～17:30
 場所 東北大学青葉山東キャンパス
 工学部・工学研究科 電子情報システム・応物系1号館5階・2号館4階
 (仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05)

超音波は古くから様々な診断技術へ利用されており、非破壊、非侵襲であることから、近年は医療への応用を目的とした超音波技術に関する研究が急速に進展しています。本企画では、東北大学大学院工学研究科電子情報システム・応物系ならびに大学院医工学研究科にて、医療への応用を目的とした超音波技術に関する研究室を見学し、最先端の超音波技術について知見を広めます。
 皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

- 15:30～17:30 見学会
 工学研究科 電子制御工学分野 金井・荒川研究室
 工学研究科 音波物理工学分野 吉澤(晋)研究室
 医工学研究科 医用イメージング研究分野 西條研究室
- 18:30～ 懇親会(仙台市内を予定)

参加費 会員 2,000円、学生会員 無料、非会員 4,000円

懇親会費 会員 5,000円、学生会員 5,000円、非会員 5,000円

申込締切 11月8日(金)

申込方法 参加者のお名前、ご所属、連絡先

(E-mail, TEL等)、懇親会参加の有無、会員種別をご記入の上、下記連絡先まで(できるだけE-mailで)お申込下さい。

連絡先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学 大学院工学研究科 化学工学専攻
 久保正樹
 TEL: 022-795-7261 FAX: 022-795-7261
 E-mail: m.kubo@tohoku.ac.jp

化学装置材料部会 公開講座

主催 化学工学会化学装置材料部会

日時 2019年11月20日(水)14:45～16:45(受付: 14:30～14:45)
 場所 東工大蔵前会館2F大会議室
<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html>

趣旨 当部会では化学装置材料に関する啓蒙活動を実施しております。今回はボイラー設備に関して、水化学(Water Chemistry)および最近のPower Plant Chemistryのジャーナルに投稿された論文から揮発性処理を始めとする最近の動向を紹介し、ボイラー水の防食・維持管理を向上させることを目的に公開講座を開催いたします。

プログラム(演題及び講演者は仮、正式には下記URLをご覧ください)

- <http://www.chemeng.titech.ac.jp/~CPME/>
- ・水化学
国際帝国石油(株) 砂場敏行氏
- ・Power Plant Chemistryから揮発性処理を始めとする最新動向
腐食分科会

参加費 5,000円(当日受付にて現金でお支払いください)

申込締切 11月8日(金)

申込・問合せ先 参加をご希望の方は、①お名前②ご所属③連絡先(所在地、TEL、E-mail)をご記入の上、下記連絡先にE-mailにてお申込みください。

化学装置材料部会 腐食分科会事務局 大津孝夫(三菱ケミカル(株))
 E-mail: ohtsu.takao.mx@m-chemical.co.jp

地 域 C T



東 北 支 部

第10回 福島地区CEセミナー プログラム

主催 福島化学工学懇話会
共催 日本大学工学部
協賛 化学工学会東北支部

日時 2019年12月21日(土)
場所 日本大学 工学部50周年記念館(ハットNE)
(福島県郡山市田村町徳定字中河原1)

プログラム

10:30～10:35 開会あいさつ(福島化学工学懇話会
会長 福島工業高等専門学校 車田研一)
10:35～11:20 ポスター発表1(奇数番号)
11:20～11:30 休憩
11:30～12:15 ポスター発表2(偶数番号)
12:15～13:15 休憩(昼食)
13:15～14:10 特別講演「超音波を活用したポリ
マー合成プロセスの構築」
講師 東北大学大学院工学研究科 久保正樹氏
座長 車田研一
14:10～14:20 休憩
14:20～15:20 口頭発表1
15:20～15:25 休憩
15:25～16:25 口頭発表2
16:30～18:30 懇親会

ポスター発表・口頭発表申込み期限 12月2日
(月)

講演要旨原稿締切 12月16日(月)

懇親会参加申込み期限 12月16日(月)

参加費 セミナー：無料、懇親会：3,000円

申込み・問い合わせ先

(独) 国立高等専門学校機構 福島工業高等専門
学校 青木寿博
E-mail : aoki@fukushima-nct.ac.jp
TEL : 0246-46-0819



関 東 支 部

第61回 関東技術サロン講演会 「サステナビリティと 都市鉱山メダル」

主催 (社)化学工学会関東支部

東京オリンピック・パラリンピックで都市鉱
山メダルが使われ、またいくつかの地方マラソ
ン等でその地域の都市鉱山から得られたメダル
が使用されはじめています。東京オリンピック
のメダルが都市鉱山メダルになることが決まっ
た時、IOCのバッハ会長は「持続可能性という観
点から素晴らしい取り組みだ」と評価しました
が、本講演では、その持続可能性という観点か
らの都市鉱山メダルの意義を述べます。また、
ゼロエミッションの金銀銅という日本の都市鉱
山メダルのもつさらに深い優位性についても明
らかにするとともに、ファインケミカル・リサ
イクルなどこれからの都市鉱山開発の方向性に

についても触れます。

なお講演終了後には、原田様を囲んでの交流
会も予定していますので合わせてご参加下さい。

日時 2019年11月22日(金)16:30～18:00(講演・
ディスカッション)18:00～19:30(交流会)
場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N
棟大会議室
アクセス 東京メトロ副都心線 西早稲田駅直
結、または、JR/東京メトロ東西線/西
武新宿線 高田馬場駅下車徒歩15分
[https://www.waseda.jp/top/access/
nishiwaseda-campus](https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus)

プログラム

16:30～16:35 関東支部 第3企画委員長 開会挨拶
16:35～17:40 講演「サステナビリティと都市
鉱山メダル」
17:40～18:00 ディスカッション
18:00～19:30 交流会
講師 物質・材料研究機構名誉研究員/サステ
ナビリティ技術設計機構代表理事 原田幸
明氏
定員 80名
参加費 サロンメンバー 2,000円、SCE・Net会
員 2,000円、正会員 3,000円、法人会員 4,000円、
学生 1,000円、その他 6,000円
受付後、参加証・会場案内図をお送りします。
請求書希望の方には請求書も併せてお送りし
ます。
申込方法 Web、メールあるいはFAXにてお申
し込みください。

・Web申込み：関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「61回 関東技術サ
ロン」をクリック後「参加申込みフォーム」をク
リックするとフォームのウィンドウが開きま
すので、必要事項を記入の上、ご送信下さい。
・FAX、E-mailによる申込み：下記関東支部事
務局宛、「第61回 関東技術サロン」と明記し、
会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便
番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailア
ドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要
の有無をご記入の上お送りください。
問合せ・申込み先 (公社)化学工学会関東支部
事務局
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530
E-mail : info@scej-kt.org

2019年度コンビナート講習会 「プラントのサイバーセキュリティ」

主催 化学工学会関東支部
協賛 化学工学会 システム・情報・シミュレ
ーション部会

近年進歩が著しいIoT、ビッグデータ、AI等
の技術の石油・化学等のプラントの制御・運
転管理・安全の確保などへの適用(スマート化)
が図られつつあり、また一方で我が国の石油・化
学プラントの老朽化と、これまでプラントの保
守・保安を行ってきた要員の高齢化による退
職が進んでいることから、このスマート化の必
要性はますます高まってきています。

これらIoT技術の適用の拡大、IoT機器利用
の増大に伴い、またさらにプラントの運転制御シ
ステムと生産管理や計画、設備管理、さらには
プラントを保有し運転する企業の管理システム

等とのネットワークによる連携なども図られつ
つあることから、プラントがサイバー攻撃を受
ける危険性が高まるとともに、一旦サイ
バー攻撃を受けるとその被害も甚大となる危惧
も増大しています。

本講演会は、上記状況を踏まえて、プラント
のサイバーセキュリティに焦点を当て、経済産
業省が示す姿や、企業での実際の取り組みにつ
いての講演などで構成しました。関係各位がプ
ラントのサイバーセキュリティを考え推進して
行く際の一助となれば幸いです。

日時 2019年12月2日(月)13:30～17:15(意見
交換会：17:30～19:00)

会場 東京理科大学 森戸記念館(東京都新宿区
神楽坂4-2-2)
JR総武線、地下鉄有楽町線、東西線、南
北線飯田橋駅下車 徒歩6分
[https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.
html](https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html)

プログラム

〈開会の辞〉(13:30～13:35)
13:30～13:35 (公社)化学工学会関東支部第2企
画副委員長挨拶
日揮グローバル(株) 山本尚司
〈講演〉(13:35～17:10)
13:35～14:15 「プラントにおけるIoT活用時の
セキュリティ対策ポイント」
(株)三菱総合研究所 江連三香氏
14:15～14:55 「出光における制御系セキュリ
ティの対策」
出光興産(株) 吉井清次氏
14:55～15:35 「IoT時代のプラント制御システ
ムセキュリティ」
三菱ケミカルエンジニアリング(株)
竹田浩伸氏
〈休憩 15:35～15:50〉
15:50～16:30 「「コネクテッドセキュリティ」プ
ロセスオートメーション(OTレイヤー)に於け
るセキュリティ対策の考え方」
シュナイダーエレクトリックシステムズ(株)
藤原健太氏
16:30～17:10 「プラント技術者がサイバーセ
キュリティにどう関わるべきか」
名古屋工業大学 橋本芳宏氏
〈閉会の辞〉(17:10～17:15)
17:10～17:15(公社)化学工学会関東支部第2企
画副委員長挨拶
千代田化工建設(株) 蛙石健一

定員 50名(定員になり次第締切)
参加費 正会員 9,000円、法人会員 11,000
円、会員外 15,000円、学生会員 2,000円
尚、それぞれの参加費にはテキスト代と消費
税が含まれます。
意見交換会 3,000円

申込方法 Web、メールあるいはFAXにてお申
し込みください。

・Web申込み：関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「コンビナート講
習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をク
リックするとフォームのウィンドウが開
きますので、必要事項を記入の上、ご送信
下さい。
・Fax、E-mailによる申込み：下記関東支部事
務局宛、「コンビナート講習会」と明記し、
会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵

便番号、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申込締切 11月27日(水)
シンポジウムオーガナイザー 納谷昌和(東京理科大学)、小林大祐(東京電機大学)、佐藤 誠(佐竹化学機械工業(株))、洗 洵(味の素(株))
問い合わせ先 東京理科大学 納谷昌和
E-mail : m.naya@ci.kagu.tus.ac.jp

理(14:20～15:00)
電池やディスプレイ内部の構成材料への薄膜塗布、および食品包装材料等への印刷に広く適用される

**2019年度化学工学会関東支部
若手の会(ChEC-East)講演会
「化学工学キャリア形成：
大学卒業・修了からの10年間」
～大学卒業・修了から10年間、
産・官・学で活躍する研究者・
エンジニアがどのようなキャリア
形成を経験したのか～**

主催 化学工学会関東支部若手の会(ChEC-East)

本会は、化学工学を大学や大学院で修めてから、産・官・学分野で10年間のキャリア形成を経験された研究者・エンジニアをお招きし、これまでの職歴・研究歴をご紹介いただくとともに、節目である10年経った今、学生時代と比べてどのような変化を体験したかをご紹介します。

10年間で研究テーマの流行や社会のニーズの素早い変化に対応しながら、職種・業種・所属・役職と様々な環境変化を体験し、その中で何を考え、どう行動してきたのか、生の体験談をお聞きできる場は稀有です。大学卒業・修了から10年未満の若手研究者・技術者はもちろん、化学工学の現役学生にとっても自分の未来の姿をイメージする上でも貴重な機会と思います。多数のご参加をお待ちしております。

日時 2019年12月4日(水)
会場 東京大学 本郷キャンパス 工学部 4号館3階42講義室
キャンパスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_05_j.html
アクセスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

プログラム
14:00～14:05 開会の挨拶
14:05～14:35 「化学工学から離れて戻って」
岐阜大学 西田 哲 様
14:35～15:05 「エンジニアリングにおけるR&Dとキャリアパス」
日揮グローバル(株) 寺谷彰悟 様
15:05～15:35 「国内企業・海外博士研究員・国内大学での研究生生活を通して感じたこと」
早稲田大学 杉目恒志 様
15:35～16:05 「化学工学をバックグラウンドにした入社10年間の軌跡」
出光興産(株) 平尾直也 様
16:05～16:20 休憩
16:20～16:50 「企業から大学への転職と博士号取得を経て」
東京大学 兼松祐一郎 様
16:50～17:20 「国内外のエンジニアリングとキャリア構築」
コスモエンジニアリング(株) 太田和洋 様
17:20～17:50 「遺伝子から組織まで～学んだ10年を化学工学でつなぐ」
東京大学 西川昌輝 様
17:50～17:55 閉会の挨拶
18:10～19:30 懇親会

参加費 講演会 無料
懇親会 正会員・法人会員・非会員2,000円、学生1,000円
申込方法 下記よりお申込下さい。定員(70名)になり次第締切ります。
<https://forms.gle/TZTkQ5NgWbuSD79QA>

**最近の化学工学講習会68
「塗布・乾燥技術の基礎と
ものづくり
—新素材の利用と次世代デバイス
への展開—」**

主催 (公社)化学工学会関東支部
共催 (公社)化学工学会材料界面部会・塗布技術分科会
協賛 化学工学会粒子流体プロセス部会、高分子子学会、プラスチック成形加工学会、日本化学会コロイド部会、日本機械学会、電気化学会、日本塗装技術協会、日本印刷学会、色材協会、応用物理学会、セラミックス協会、日本粉体工業技術協会、粉体工学会

化学工学会関東支部では、最近大きく前進した分野の成果や考え方を集成して解説するとともに、できるだけ次の数年間への問題提起を行うことを目的として「最近の化学工学」講習会シリーズを企画しています。今年度は、塗布膜の形成と乾燥操作からなる塗布技術について、過去10年間におけるこの分野の進展を整理すると共に、今後の発展の方向性を議論します。関連する産学官の技術者、研究者を講師に迎え、塗布技術の基本的な考え方から、プロセス理解のポイント、塗布乾燥欠陥や微細構造の制御法まで、最先端のプロセスサイエンスに基づいて解説します。また塗布乾燥装置について、実務に役立つ設計・運転技術と、最近の開発動向を紹介いたします。さらにプリンタブルエレクトロニクスや新材料への展開・数値解析技術の進展についてそれぞれ最新動向をまとめることで、塗布技術の基礎から応用までを包括的に理解して頂ける場を提供いたします。なお、テキストとして講習会講師執筆による三恵社刊「最近の化学工学68塗布・乾燥技術の基礎とものづくり」を使用します。皆様奮ってご参加下さい。

日時 2020年1月20日(月)・21日(火)初日講演の後交流会を開催
会場 早稲田大学55号館第2会議室

プログラム
初日(1月20日(月))
0. 第一企画委員長挨拶(9:25～9:30)
(東京大学)大友順一郎
(基礎編)
1. [総論] 種々の塗布方式の歴史と変遷(9:30～10:10)
(元富士フィルム(株))宮本公明氏
2. [基礎]塗布流動の基礎(10:10～10:50)
(ダウ・東レ(株))津田武明氏
3. [基礎]レオロジーの基礎(10:50～11:30)
(神戸大学)菟田悦之氏
4. [基礎]スラリー分散・凝集制御(11:30～12:10)
(法政大学)森 隆昌氏
昼休憩(12:10～13:00)
5. [基礎]流れと表面張力(13:00～13:40)
(埼玉大学)本間俊司氏
6. [装置]スロットダイ塗布(13:40～14:20)
(株)ヒラノテクシード)笹野祐史氏
7. [装置]グラビア塗布の概要およびプロセス管

理(14:20～15:00)
休憩(15:00～15:20)
8. [装置]電子線の産業利用(15:20～16:00)
(岩崎電気(株))武井太郎氏
9. [装置]赤外線を用いた塗布膜乾燥プロセスの特徴と効果(16:00～16:40)
(日本ガイシ(株))近藤良夫氏
10. [総論] 最近の学術動向と計測評価手法の進展(16:40～17:20)
(九州工業大学)山村方人氏
11. [エレクトロニクス]印刷型有機集積回路とIoTセンサ応用(17:20～18:00)
(山形大学)時任静士氏
12. 総合討論(18:00～18:15)
13. 交流会(18:15～19:30)

二日目(1月21日(火))
(応用編)
1. [エレクトロニクス]ウエアラブル・デバイスの印刷形成と材料に求められる課題(10:00～10:40)
(DKNリサーチ)沼倉研史氏
2. [エレクトロニクス]微細印刷のパターニング原理と応用プロセス(10:40～11:20)
(産業技術総合研究所)日下靖之氏
3. [エレクトロニクス]二次電池、燃料電池の電極スラリーモデルのレオロジー(11:20～12:00)
(株)豊田中央研究所)中村 浩 氏
昼休憩(12:00～13:00)
4. [新材料]クレースト：ソリューションキャストによる高付加価値製品開発(13:00～13:40)
(産業技術総合研究所)嶋名武雄氏
5. [新材料]セルロースナノファイバーの構造・基礎特性と塗布・乾燥分野への応用と課題(13:40～14:20)
(東京大学)磯貝 明氏
6. [解析技術]塗布乾燥シミュレーション(14:20～15:00)
(株)アドバンスソフト)富塚孝之氏
総合質疑・休憩(15:00～15:20)
7. [基礎]ナノ粒子の表面設計による液中分散制御(15:20～16:00)
(横浜国立大学)飯島志行氏
8. [解析技術・総論]乾燥に伴う界面変形:液液および固液界面での物質移動(16:00～16:40)
(東京農工大学)稲澤 晋氏
9. 総合討論(16:40～17:00)

募集人数 60名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきますので、その旨ご了承ください)
参加費 正会員(協賛団体含む)31,000円、法人会員36,000円、学生会員10,000円、会員外46,000円、サロメンバー26,000円
*1日のみ参加の場合:正会員(含協賛団体)18,000円、法人会員(含協賛団体)の社員23,000円、学生会員8,000円、会員外33,000円、サロメンバー15,000円
※なお、それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。
支払方法 受付後、参加証と共に送付する振替用紙にて事前にお振り込みください。当日、会場での現金払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。
申込方法 Web、メールまたはFAXにてお申し込みください。
・Web申込み
関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回

行事開催一覧の「最近の化学工学講習会68」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「最近の化学工学講習会68」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申し込み先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

第51回 Continuing Education シリーズ講習会

「AI・IoT・ビッグデータ活用の基礎とプロセスへの実装」

ー1日でわかるデジタル活用の最新技術と企業のプロセス実装事例ー

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 (公社)化学工学会システム・情報・シミュレーション(SIS)部会 AI・IoT委員会、安全部会、分離プロセス部会、反応工学部会、材料・界面部会、化学装置材料部会、開発型企業の会、日本学術振興会プロセスシステム工学第143委員会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、日本機械学会、日本化学会、石油学会、分離技術会、日本薬学会、日本プロセス化学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本設備管理学会、日本溶剤リサイクル工業会

AI・IoT・ビッグデータなどのデジタル技術が急速に発達し、その産業プロセスへの活用は設計・運転・監視・保守などへの実装の段階に入っています。本講習会では、まず【第一部 基礎編】にて、これらのデジタル技術の活用の基礎およびプロセス運転監視・ソフトセンサー・医薬品製造プロセスなどへの応用例を解説します。【第二部 プロセス実装編】では、プロセスの安定性・生産性・効率化・安全性の確保の実現に向けた企業のプロセス実装事例を紹介します。

デジタル技術活用に関連した幅広い話題、および企業における豊富な活用事例を1日で網羅する充実した内容となっています。各種プロセス産業で勤務されるエンジニアや技術系管理職の方、また化学工学系大学院生など、皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時 2020年1月21日(火) 9:30～17:40 講演終了後に交流会を開催
会場 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟1階大会議室
〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
アクセス <http://www.waseda.jp/fsci/access/>

プログラム

1. 開会の挨拶(9:30～9:40)

企画幹事(東京大学大学院)大友順一郎

【第一部 基礎編】

2. 化学プラントにおけるAI・IoT活用(9:40～10:10)

(東京農工大学)山下善之氏

3. 化学工学におけるAIおよびデータ駆動的活

用(10:10～10:55)

(物質・材料研究機構)永田賢二氏

休憩(10:55～11:05)

4. 時系列データ解析入門とプロセス運転監視・ソフトセンサー(11:05～11:50)

(明治大学)金子弘昌氏

質疑応答(11:50～12:00)

昼食(12:00～13:00)

5. IoTシステム設計において考慮すべきこと(13:00～13:45)

(名古屋大学大学院)藤原幸一氏

6. 医薬品製造プロセスにおけるAI活用(13:45～14:30)

(東京大学大学院)杉山弘和氏

質疑応答(14:30～14:40)

休憩(14:40～14:55)

【第二部 プロセス実装編】

7. 三菱ケミカルにおけるデジタル技術活用の取り組み(14:55～15:25)

(三菱ケミカル(株))手塚理沙氏

8. 住友化学における工場デジタル化の取り組み(15:25～15:55)

(住友化学(株))平石康晃氏

9. 化学プラントにおけるAI・ビッグデータ活用(15:55～16:25)

(三井化学(株))江崎宣雄氏

10. 石油プラントの設備信頼性向上へのAI技術の活用(16:25～16:55)

(出光興産(株))蓮井光彦氏

11. カネカにおけるAI・IoT活用(16:55～17:25)

(株)カネカ 浅井洋介氏

質疑応答(17:25～17:40)

交流会(18:00～19:30)

募集人数 75名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきますので、その点ご了承ください)

参加費 正会員(協賛団体含む)16,000円、法人会員21,000円、学生会員3,000円、会員外31,000円、サロンメンバー8,000円

※なお、それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。

支払方法 受付後、参加証と共にお送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日、会場での現金払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 Web、メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「Continuing Education 51」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「Continuing Education 51」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申し込み先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

クローズアップシリーズ2019 「CFDと先進解析技術の融合」

主催 化学工学会関東支部

協賛 化学工学会 システム・情報・シミュレーション部会、反応工学部会、粒子・流体プロセス部会

CFD(Computational Fluid Dynamics)は、流体の運動に関するナビエ・ストークスの式などを数値的に計算して流体の動きの状況を予測・推定するものであり、プラントでは装置内外や配管内などでの流体の流れ挙動の推定・可視化ができることから、幅広く装置設計やトラブル時の事象解析・原因究明などに利用されています。

さらに近年は、単なる流れの挙動の推定だけではなく、その結果を用いた構造解析・設備診断や、他の事象を細かく表現するモデルとの組合せによる複合的な事象のシミュレーションなどへ活用の場が広がると言えます。

このような背景のもと、CFDと先進解析技術との組合せの視点からの最新的事例や話題を提供する講演会としました。プラントに関連する流れに関連する様々な事象の挙動予測や解析等を行う際のヒントとして頂ければ幸いです。

日時 2020年1月29日(水) 13:30～17:15(意見交換会:17:30～19:00)

会場 東京理科大学 森戸記念館(東京都新宿区神楽坂4-2-2)
JR総武線、地下鉄有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅下車 徒歩6分
<https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

プログラム

〈開会の辞〉(13:30～13:35)

13:30～13:35 (公社)化学工学会関東支部第2企画副委員長挨拶

(日揮グローバル(株)) 山本尚司

〈講演〉(13:35～17:10)

13:35～14:15 「化学プロセス開発における混相流解析」

(三菱ケミカル(株)) 石羽 恭氏

14:15～14:55 「流れの数値シミュレーションを活用した混相攪拌の検討」

(住友化学(株)) 島田直樹氏

14:55～15:35 「DEMを用いたサイクロンフラッパーの動的解析と実験およびエロージョン予測」

(出光興産(株)) 坂倉 圭氏

〈休憩〉:15:35～15:50

15:50～16:30 「エロージョンによる配管減肉速度のCFD予測検証と適用事例」

(日揮グローバル(株)) 銭 紹祥氏

16:30～17:10 「CFDと詳細プロセスモデルとのハイブリッドシミュレーションー多管式固定床触媒反応器、及びスプレードライヤにおける連成事例」

(ピーエスイージャパン(株)) 柏屋 滋氏

〈閉会の辞〉(17:10～17:15)

17:10～17:15 (公社)化学工学会関東支部第2企画委員長挨拶

(千代田化工建設(株)) 蛙石健一

〈意見交換会〉(17:30～19:00)

定員 50名(定員になり次第締切)

参加費 正会員9,000円、法人会員社員11,000円、会員外15,000円、学生会員2,000円

尚、それぞれの参加費にはテキスト代と消費税が含まれます。

意見交換会3,000円

申込方法 Web、メールあるいはFAXにてお申し込みください。

- ・Web申込み：関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「クローズアップシリーズ2019」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信下さい。
- ・Fax, E-mailによる申込み：下記関東支部事務局宛、「クローズアップシリーズ2019」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

会会員、ならびに協賛・講演団体会員に適用します。

*「学生会員」価格は、化学工学会の学生会員、部会学生会員ならびに企業+学生・留学生国際交流シンポジウム発表学生に適用します。

スケジュール・プログラム等の詳細は大会webサイトにて公開いたします。
<http://www3.scej.org/meeting/ks2019/>

問合せ先 化学工学会姫路大会2019実行委員会
(化学工学会関西支部内)
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
大阪科学技術センター6階
TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685
E-mail：inquiry-ks2019@www3.scej.org

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL：06-6441-5531 FAX：06-6443-6685
E-mail：mail@kinka.or.jp

九州支部

第22回「企業と大学・高専の人材育成懇談会」のご案内

主催 化学工学会九州支部
共催 東九州化学工学懇話会、西九州化学工学懇話会、南九州化学工学懇話会、北九州化学工学懇話会、沖縄化学装置懇話会

化学工学会九州支部では、企業と大学・高専間の人材育成および求人・就職に関する情報交換を目的として、1998年度より首記の懇談会を開催しております。毎年、多数の企業・大学・高専の方々にご参加頂いております。本年度も、下記のような企画で開催いたします。大学・高専の方々はもちろんのこと、企業の人事関係者、研究者、技術者の皆様方、お気軽にご参加ください。

日時 2020年1月24日(金) 13:00～19:30 予定
会場 TKPガーデンシティ博多新幹線口 プレミアムホール
福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル5F
TEL：092-432-7250
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilities/gc-hakata-shinkansenguchi/access/>
※近隣に類似会場がございますので、ご注意くださいようお願い申し上げます。

プログラム
1. 支部長挨拶
2. 参加企業と大学・高専との相談会(ブース形式) 名刺交換・懇談
3. 懇親会

参加費 (1人当たり) 会員企業 30,000円、非会員企業 35,000円、大学・高専 5,000円

定員 24社(申込順、1社3名以内) 100名(申込順)

申込方法 申込書を九州支部へご請求の上、ご記入後E-mailまたはFAXにてご返送ください。また、参加費は、来年1月末までに下記までお振り込みください。

申込締切 2019年12月13日(金)
振込先:西日本シティ銀行 前原支店(普通) 1784693

名義「公益社団法人化学工学会九州支部人材育成懇談会 代表者 柘植 義文」

申込先 〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学工学研究院化学工学部門内 化学工学会九州支部
TEL&FAX：092-802-0009
E-mail：kshibu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp
URL：<http://www3.scej.org/kyushu/>

関西支部

化学工学会姫路大会2019 参加募集

主催 化学工学会関西支部
共催 播磨産業懇話会、化学工学会中国・四国支部
協賛 粉体工学会、日本機械学会関西支部、近畿化学協会、日本接着学会関西支部
後援 姫路商工会議所、姫路市コンベンションビューロー、兵庫県立大学
日時 2019年12月16日(月)～17日(火)
会場 じばさんびる
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町123番
(交通)JR姫路駅より徒歩約3分

懇親会

日時 12月16日(月)18:00～20:00(予定)
会場 ホテル日航姫路
〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町100番
(交通)会場から徒歩1分、JR姫路駅より徒歩約3分

事前参加登録受付期間

2019年10月1日(火)～11月29日(金)
姫路大会2019ホームページ内の参加登録ページをご覧ください。

本大会では事務コストを削減し、参加費を安くするために、事前参加登録の参加費のお支払いは銀行振込のみとさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。一度、ご入金頂きますと、理由の如何を問わず返金できませんので、ご注意ください。
※登壇者を含む、本大会に参加される方は、全て参加費用のお支払いが必要です。

大会参加費	事前登録	当日登録
一般会員*	7,000円	8,000円
学生会員**	2,000円	3,000円
会員外(一般)	13,000円	14,000円
会員外(学生)	3,000円	4,000円

懇親会費	事前登録	当日登録
一般	7,000円	8,000円
学生	5,000円	6,000円

*「一般会員」価格は、化学工学会の正会員、法人会員、部会特別会員、部会賛助会員、懇話

近化電池セミナー 革新型蓄電池の現状と展望

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部
日時 2019年12月19日(木) 10:00～18:30
会場 大阪科学技術センター8階中ホール(大阪市西区靱本町1-8-4)
(交通)Osaka Metro(地下鉄)四つ橋線「本町」駅25・28番出口を北へ徒歩約5分、うつぼ公園北詰

プログラム

1. 全固体電池実現に向けた界面現象への取り組み (NIMS) 高田和典氏
2. RISING2における亜鉛空気二次電池の研究開発 (京大産官学連携) 新倉順二氏
3. リチウム-硫黄電池の革新 - 液相レドックスからの脱却 - (産総研) 柴部比夏里氏
4. フッ化物シャトル電池の現状と展望(仮) (京大院工) 安部武志氏
5. 革新型蓄電池の実現に向けたコンバージョン型正極材料の応用における期待と課題 (産総研) 宮崎武志氏
6. リチウムイオン電池の安全性に関して (八山) 馬場良貴氏

アフターディスカッション(懇親交流会) 参加無料
参加費 主催団体会員20,000円、共催団体会員25,000円、会員外30,000円、大学・官公庁職員10,000円、学生5,000円(消費税込み)

参加申込方法 ホームページ (<http://www.kinka.or.jp/event/2019/2019cell.html>) よりお申込みください。または、「近化電池セミナー 参加申込」と題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、4)会員資格、5)アフターディスカッションの参加の有無、6)送金方法を明記のうえ、下記宛お申し込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)、郵便振替(00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会)のいずれかでお願います。(振込手数料は参加者でご負担願います)

申込先 一般社団法人近畿化学協会

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、[日本印刷\(株\)\(秋山\)](#)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上